

1. 小麦 2. とうもろこし 3. 大豆 4. 砂糖

1. 食料品工業 2. 金属工業 3. 機械工業 4. 化学工業

1. 消費税の税率を全世代で一律に固定することで、社会保障の財源を確保し、世代間の税負担の公平性を保つ仕組み。

2. 独占禁止法に基づいて大企業の経済活動を制限し、中小企業と個人の所得が均等になるように調整する仕組み。

3. 所得の多い人に高い税率を課す累進課税や社会保障制度を通じて、納税後の所得格差を縮小させる仕組み。

4. 不況時に減税や公共事業の拡大を行うことで、国民の可処分所得を増やし、景気の安定を図る仕組み。

1. インドでは食料品工業が工業出荷額の過半数を占めており、重化学工業の育成は遅れている。
2. インドは周辺諸国に比べて工業出荷額が極めて大きく、石油製品や機械などの重化学工業が発展している。
3. インドは工業出荷額においてスリランカに劣るものの、機械工業の割合だけは周辺国より高い。
4. インドの工業出荷額は周辺諸国と同水準であるが、繊維工業の割合が最も高い点の特徴である。

1. 封建的な身分制度を改めるために、土地の所有権と納税の仕組みを定めた地租改正	2. 中央集権体制を確立するために、藩を廃止して全国を政府が直接支配した版籍奉還	3. 富国強兵のために、官営模範工場を設立して近代産業の育成を目指した殖産興業	4. 欧米の生活様式を取り入れ、個人の自由や平等を広めることで国民意識を高めた文明開化
--	--	---	---

1. インターネット上の情報を制限し、特定の公的機関が発信する情報だけを共有する社会を作る必要があるから	2. 膨大な情報の中から、内容の真偽を判断し、目的を達成するために情報を主体的に扱う必要があるから	3. テレビや新聞などのマスメディアが提供する情報を、批判を加えずにすべて事実として受け入れる必要があるから	4. 情報の取捨選択をすべて人工知能(AI)に任せることで、人間の判断ミスを完全になくす必要があるから
--	---	--	---

1. 福沢諭吉 2. 原敬 3. 徳川慶喜 4. 陸奥宗光

1. 北九州工業地域 2. 中京工業地帯 3. 京浜工業地帯 4. 阪神工業地帯

1. 仏教の儀式で供え物としてのみ使用が許可されたため

1. セルバ 2. リャノ 3. カンボ 4. パンパ

1. 参政权 2. 知る権利 3. 自然権 4. 社会権

1. 生産・流通・消費の各段階で廃棄物の発生を抑え、資源を循環させることで環境への負荷を軽減すること。	2. 仕事と個人の生活の調和を図り、多様な働き方を通じて仕事以外の生活を充実させるための環境を整えること。	3. 高齢者や障がいのある人にとっての物理的、社会的、心理的な障壁を取り除き、施設や設備を利用しやすいすること。	4. 医療の現場において、医師が患者に対して治療方針などを適切に説明し、患者の同意に基づいて治療を進めること。
---	---	--	---

答え合わせ・解説

問1	答え 1 小麦	日本の小麦は自給率が低く、輸入の約4割以上をカナダとアメリカ合衆国の北米2カ国が占めています。広大な土地を利用した大規模な機械化農業が行われている北米地域は、日本にとって重要な食料供給源となっています。
問2	答え 4 化学工業	2021年の統計において、瀬戸内工業地域は全国平均や他の中京・阪神といった工業地帯と比較しても、化学工業の製造品出荷額等の割合が高いことが大きな特色です。これは岡山県の倉敷市（水島）や山口県の周南市、岩国市などの沿岸部に大規模な石油コンビナートが整備されているという地域的な背景が影響しています。
問3	答え 3 所得の多い人に高い税率を課す累進課税や社会保障制度を通じて、納税後の所得格差を縮小させる仕組み。	市場経済の仕組みに任せているだけでは、個人の能力や環境によって大きな貧富の差が生まれてしまいます。政府は、所得税における累進課税によって高所得者から多くの税金を集め、それを生活保護や年金などの社会保障給付として所得の低い人々へ供給することで、経済的な格差を是正します。これは「資源の配分」「景気の安定（調整）」と並ぶ、財政の重要な機能の一つです。
問4	答え 2 インドは周辺諸国に比べて工業出荷額が極めて大きく、石油製品や機械などの重化学工業が発展している。	南アジアにおけるインドの工業出荷額は約1兆2966億ドルに達し、パキスタンやスリランカを大きく引き離しています。その内訳も、石油製品、化学、金属、機械の合計が6割を超えるなど、重化学工業が中心となっている点が、軽工業中心の近隣諸国との決定的な違いです。スリランカの食料品出荷額がインドを上回ることではなく、規模の面でもインドが南アジアの工業を牽引しています。
問5	答え 3 富国強兵のために、官営模範工場を設立して近代産業の育成を目指した殖産興業	明治政府は、国家の自立と発展のために、経済力と軍事力を同時に高める「富国強兵」を最優先事項とした。その経済側面を担ったのが「殖産興業」であり、民間の資本が十分に育っていない時期に、政府自らが官営模範工場を作って技術を示し、近代的な産業の土台を築こうとした。なお、版籍奉還は土地と人民を天皇に返還させたものであり、府県を設置したのは廃藩置県である。
問6	答え 2 膨大な情報の中から、内容の真偽を判断し、目的を達成するために情報を主体的に扱う必要があるから	ICTの発展により、私たちは場所や時間を問わず大量の情報にアクセスできるようになりました。しかし、発信者が不明確な情報や偏った意見も混在しているため、受け手がそれらを批判的に検討し、自分自身で適切に判断・活用する姿勢が、民主主義社会を支える市民に不可欠な資質となっています。
問7	答え 1 福沢諭吉	文明開化の時代に活躍した啓蒙思想家による活動です。この人物は『学問のすゝめ』を通じて、一人ひとりが自立して学ぶことが国家の独立につながると説きました。選択肢にある他の人物は、大政奉還（徳川慶喜）、領事裁判権の撤廃などの条約改正（陸奥宗光）、初の本格的な政党内閣（原敬）といった、政治・外交面での功績で知られる人物です。
問8	答え 2 中京工業地帯	名古屋市を中心としたこの工業地帯は、日本の製造品出荷額の約2割を占める日本最大の工業地帯です。豊田市を中心とした自動車産業の集積が大きな特徴であり、他の工業地帯と比較しても機械工業の割合が極めて高いことで知られています。
問9	答え 3 戦場へ持ち運びができる便利な携帯食として活用されたため	鎌倉時代末期から南北朝の動乱にかけては武士の活動が活発化した時期であり、合戦が相次ぎました。このような背景の中、保存性が高く栄養価も豊富で、持ち運びが容易な「戦時の携帯食」としてみそが重宝されたことが、中世における普及の大きな要因となりました。
問10	答え 4 パンパ	ラブラタ川流域に広がる温帯の草原は「パンパ」と呼ばれます。ブラジル北部のAmazon川流域に広がる熱帯雨林である「セルバ」や、オリノコ川流域の「リャノ」と区別して覚える必要があります。19世紀から大規模な牧畜が発展したことで知られています。
問11	答え 3 自然権	アメリカ独立宣言は、イギリスの思想家ジョン・ロックが唱えた、人間が生まれながらに持つ「自然権」の思想を強く受けています。この宣言では、政府が国民の権利を不当に侵害する場合には、国民には政府を改めて新しい政治組織をつくる「抵抗権（革命権）」があることも明記されました。
問12	答え 3 高齢者や障がいのある人にとっての物理的、社会的、心理的な障壁を取り除き、施設や設備を利用しやすくすること。	「共生社会」とは、障がいの有無や年齢にかかわらず、すべての人が支え合い、生き生きと暮らせる社会を指します。バリアフリーは、その社会を構築するために、日常生活におけるあらゆる障壁を解消しようとする具体的な理念と手段を指しています。